学校番号	413

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂版「世界史Ａ」（世Ａ３１７）　（第一学習社）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去に学んで未来を考えていくために、歴史的事象の考察から未来を考える材料を探す。
・歴史の大きな流れをつかみ、基礎的な知識を確立する
・歴史を背景とした世界の諸事情を踏まえ、世界市民としての生き方を考える

2　学習の到達目標

・歴史の大きな流れをつかみ、そこに暮らす人々の生活に思いをいたせる歴史的思考力を養う。
・現代の諸課題を、近現代を中心とする歴史の考察から解決に向けて取り組んでけるような意欲と力をはぐくむ。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、国際社会に主体的に生きる世界市民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的･地理的事象に対する関心と問題意識を高め，　意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる世界市民としての責任を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的･地理的事象から世界史的視点に立って考察し､国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，　その過程や結果を適切に表現している。	近現代を中心とする歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	近現代史を中心とする世界史の大きな流れをつかみ、基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ノート・プリント レポート 意見発表・授業態度 ［主題学習］ ワークシート 振り返りシート	定期考査 ノート・プリント レポート 意見発表 ［主題学習］ ワークシート	定期考査 ノート・プリント	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への いざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○ ○	○	 ○	○ ○	a: 地理的環境が歴史に与える影響や日本の歴史と世界の歴史のつながりについて，意欲的に考えようとしている。 b: 設定されたテーマについて、多角的に考察している。 c: 地理的環境と歴史との関わりを示す資料を適切に活用している。 d: 設定されたテーマについてて理解し，歴史を多面的に考察している。	課題提出 発問評価 授業態度
	世界の一体化と日本	① ユーラシアの諸文明 ・東アジア ・南アジア ・東南アジア ・西アジア ・ヨーロッパ ・アフリカ ・アメリカ ・ユーラシア海の交流 ・ユーラシア陸の交流	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a: 古代文明の形成やユーラシアの交流について，意欲的に考えようとしている。 b:設定されたテーマについて、多角的に考察し，文章にまとめている。 c:地理的環境と歴史との関わりを示す資料を適切に活用している。 d: 古代文明の形成や各地域の特色、ユーラシアの交流について理解し，歴史を多面的に考察している。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度
		② 結びつく世界と近世の日本 ・東アジア ・内陸アジア・南アジア ・オスマン帝国・西アジア ・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制 ・世界商業の展開 ・17・18世紀のヨーロッパ諸国	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 産業革命以前における世界の結びつきや東西交流に関心を高め，意欲的に学習している。 b: 産業革命以前における世界の結びつき及び東西交流について、多角的に考察し，文章にまとめている。 c: 地図や資料を適切に用い，産業革命以前における世界の結びつきや東西交流を説明できる。 d: 産業革命以前の世界の結びつきや東西交流の展開を空間的に把握し，理解している。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度

1学期	世界の一体化と日本	③ ヨーロッパアメリカの工業化と産業革命 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオン戦争 ・ラテンアメリカ諸国	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a: イギリス産業革命や市民革命、ナポレオン戦争について関心を持ち意欲的に学習する。 b: 産業革命や市民革命などの背景と影響について多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 c:設定された時代に関する地図や諸資料を適切に活用して、地理的理解や具体的な歴史像の理解に用いている。 d:産業革命からラテンアメリカの独立までの歴史的流れをつかみ、アメリカ独立革命，フランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立が相互に関連をもちながらおこったことを理解する。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度
		・ウィーン体制 ・イギリスの繁栄 ・二月革命 ・イタリア・ドイツの統一 ・ロシアの近代化 ・アメリカ合衆国の膨張	 ○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:欧米諸国の国民国家形成について関心を持ち、意欲的に学習する。 b:各国の国民国家形成の課題や問題点について多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 c: 設定された時代に関する地図や諸資料を適切に活用して、地理的理解や具体的な歴史像の理解に用いている。 d:ウィーン体制成立から崩壊までの流れや各国の歴史的特質を理解する。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度

2学期	世界の一体化と日本	④　アジア諸地域の変貌と近代日本 ・世界市場の形成 ・オスマン帝国の衰退と西アジア ・南アジアの植民地化とインド帝国 ・東南アジアの植民地化 ・清の動揺 ・明治維新と東アジア	 ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a: ヨーロッパを中心とするアジアでの国際分業体制の形成について，近代世界システム論の視点から意欲的に学習する。 b: 19 世紀の世界の一体化とその特質を考察し，その結果を適切に表現する。 c: ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容，その中での日本の対応に関する資料やヨーロッパの植民地支配に対する抵抗運動の高まりや近代化の動きについての資料を活用している。 d: 上記のこの時期特有の諸課題について考察し，その知識を身に付ける	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度
	地球社会と日本	①　帝国主義の時代 ・帝国主義の時代 ・列強の世界政策 ・アジア太平洋地域の分割とロシア ・中国分割の危機と日本 ・アジア諸国の変革 ②　急変する人類社会 ・世界の一体化 ・大衆の登場と国民統合	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:帝国主義列強の世界政策によって世界がどのように変容したか，意欲的に追究する。 b: 帝国主義政策により民族・国境など現在まで残る問題を考察し，その結果を適切に表現する。 c: 帝国主義列強の植民地支配やその時期の社会の急激な変化についての資料を活用している。 d:帝国主義の特徴とこの時代の全世界の変容について、基本的な事項を理解する。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度

2学期	地球社会と日本	③　世界戦争と平和 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・アジア・アメリカの民族運動と独立運動	○	 ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a：第一次世界大戦の原因について，これまでに学習したことと関連付けて，意欲的に追究する。 b：第一次世界大戦後の世界の変化について，第二次世界大戦へとつながった問題点を含め，多角的に考察し，その結果を適切に表現する。 c：第一次世界大戦やロシア革命ヴェルサイユ体制などの史料を活用している。 d：第一次世界大戦の性格と第一次世界大戦がもたらした世界の変化について考察し，国際連盟やヴェルサイユ・ワシントン体制の理念と現実，アジア諸国の民族運動について理解し，国際社会の枠組みの変化について把握する。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度
3学期		・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の軍国主義と中国 ・第二次世界大戦	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a：世界恐慌からファシズムの台頭，第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら，意欲的に追究する。 b：第二次世界大戦の原因を考察し，その結果を適切に表現する。 c：世界恐慌の原因と影響，各国の恐慌対策，ファシズム台頭の背景と経過についての資料を活用している。 d：第二次世界大戦の性格と，その過程で生じた米ソ冷戦の芽や原爆使用にいたる意味を考察し、様々な立場を理解し，その知識を身に付ける。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度

3学期	地球社会と日本	④ 三つの世界と日本の動向 ・戦後の世界の国々の動き ・緊張緩和と多極化 ・中国の動揺とベトナム戦争 ⑤ 地球社会への歩みと課題 ・アメリカ合衆国の動揺 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の変容 ・冷戦の終結とその後 ・経済のグローバル化 ⑥ 持続可能な社会への展望	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a: 現代社会の特質や課題について自ら主題を設定し，主体的かつ意欲的に学習している。 b: 第２次世界大戦後の世界の政治・経済の動向について考察し，その結果を適切に表現する。 c: 新聞やインターネットなどから戦後の国際社会の新しい動きや問題点についての情報を収集し，有用な情報を選択して活用する。 d: 第２次世界大戦後の社会について、基礎的な歴史的事実を把握し、持続可能な社会の実現について展望する。	定期考査 ノート・プリントの提出 感想やレポートの内容 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。